



データでみる福島再生

最近の動き

○福島県内の除染仮置場等の状況

- ・仮置場等総数1,371箇所のうち、388箇所で除去土壤等を保管中、983箇所で搬出が完了し、642箇所の仮置場で原状回復が完了しました。

○中間貯蔵施設の整備の現状

- ・除去土壤の分別処理を行い、12月末時点で、約635.5万m³（輸送量ベース）の土壤を土壤貯蔵施設に貯蔵しました。
- ・廃棄物の焼却及び焼却灰の灰処理を行い、12月末時点で、灰処理ばいじんを封入した鋼製角形容器3,674個を廃棄物貯蔵施設に貯蔵しました。

○中間貯蔵施設への除去土壤等の輸送の進捗状況

- ・2020年12月末時点で、累積約1,011万m³（全体の約72.2%）の除去土壤等を中間貯蔵施設へ輸送しました。

○中間貯蔵施設用地の状況

- ・用地取得については、12月末時点で契約者数1,787人、面積約1,205haについて契約しております。

○国直轄による対策地域内廃棄物等の処理進捗状況

- ・災害廃棄物等の仮置場への搬入については、11月末時点で、約291万トンの搬入を完了しました（うち、約51万トンが焼却処理済、約184万トンが再生利用済）。
- ・被災家屋等について、11月末時点で、約17,000件の解体撤去申請を受付済みであり、約16,100件を解体撤去済みです。

○国直轄による対策地域内における仮設焼却施設の設置状況

- ・11月末時点で、約124万トン（除染廃棄物を含む）※を各仮設焼却施設で処理しました。

※仮設焼却施設での処理済量を訂正いたしました。（訂正日：令和4年1月12日）

○特定廃棄物埋立処分施設への搬入状況

- ・12月末時点で、158,934袋を特定廃棄物埋立処分施設へ搬入しました。

○放射線に関するリスクコミュニケーション活動状況（12月実施）※

- ・相談員支援センターにおいて、研修会を1回、住民セミナーを7回、車座意見交換会を1回実施しました。
- ・環境再生プラザにおいて、専門家派遣を5件、移動展示を5件(7日) 実施しました。
- ・内部被ばく検査(WBC) を16日間実施しました。
- ・ガンマカメラを活用し、仮置場の原状回復などの検証を19台日実施しました。
※いずれも、新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じて実施しました。

○帰還困難区域等における鳥獣の捕獲状況

- ・今年度の捕獲数は、12月末現在でイノシシ2,013頭、アライグマ367頭、ハクビシン85頭となっています。